

消防隊

消防士長 田中 栄己

私が消防士を目指したきっかけは、幼い頃見た消防士の訓練中にみせる元気ある声ときびきびとした姿に憧れたことでした。そして、平成7年に発生した阪神淡路大震災でテレビ画面を通して衝撃を受け、過酷な環境の中でも大きな声で現場活動をしていた消防隊の姿を見て「自分も人の命を救える消防士になりたい」と将来の夢へと変わりました。

消防士となった現在、私は消防隊として火災や救急、救助にとどまらず地震や風水害といった大規模災害に出動し、災害の最前線に立っています。消防は仲間との連携がとても重要です。過酷な現場であっても要救助者の命、そして自分の命を守るためにみんなで大きな声を出し合い活動しています。仲間と一緒にだからこそどんなに辛い災害現場でも乗り越えることができます。現場活動のほかにも消火避難訓練や消防団訓練の指導があります。訓練の中で、協力する大切さや連携の重要性を伝えています。地元住民との連携も私たち消防隊にとって大切なことです。消防は一人で命を救うわけではありません。みんなの力が集まって隊の力となり、組織の力や地域の力となって大切な命を救うのです。消防士を志しているあなた、熱い仲間と熱い気持ちで災害に立ち向かっていきましょう！消防隊の大きな声で要救助者を励まし、仲間と連携をとり、私たちにしか救えない大切な命を救っていきましょう！